

たばこが脅かす命と健康

喫煙が関連する害の例

循環器疾患

- ・冠動脈疾患 (狭心症、心筋梗塞など)
- ・脳卒中
- ・大動脈解離

呼吸器疾患

- ・慢性閉塞(へいそく)性肺疾患 (COPD)
- ・気管支ぜんそく
- ・肺炎

がん

- ・肺がん
- ・喉頭がん
- ・口腔(こうくう)がん
- ・食道がん
- ・胃がん
- ・大腸がん
- ・肝がん
- ・膵臓(すいぞう)がん
- ・膀胱(ぼうこう)がん
- ・子宮頸(けい)がん
- ・骨髄性白血病

生殖

- ・妊娠合併症
- ・早産
- ・低出生体重

その他

- ・2型糖尿病
- ・骨粗しょう症
- ・加齢黄斑変性

歯科疾患

- ・歯周病
- ・虫歯



31日、世界禁煙デー

5月31日は世界禁煙デーだ。世界保健機関(WHO)はここ数年、たばこ業界の宣伝活動を抑え込むキャンペーンに取り組み、一方、たばこの害の研究は国内外で進み、有害性の新たな面が明らかになりつつある。

発がん物質 煙に70種類

たばこの煙には少なくとも70種類の発がん物質をはじめ、数多くの有害物質が含まれ、がんのほか循環器や呼吸器、消化器などで起こるさまざまな病気の原因になることが研究で分かっている。

たばこが原因でどれくらいか。東京大や国立がん研究センター、大阪大などのチームが推定した数字がある。喫煙や高血圧、運動不足といった危険因子ごとに死亡への影響を調べた研究で、喫煙が「最大の危険因子」である

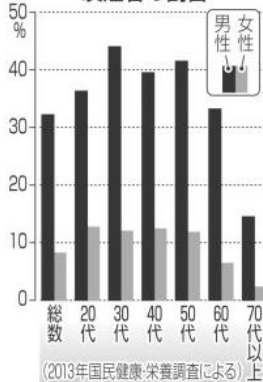
ことを裏付ける結果だった。それによると、2007年に喫煙が原因で亡くなった人は12万8900人と推定され、全ての危険因子の中で最も多かった。これは国内の死者の約1割に当たる。

直接的死因は、がんが7万7400人、循環器疾患が3万3400人、呼吸器疾患が1万8100人。病気で最も多いのは肺がんの4万2千人。男女別で見ると、喫煙率の高い男性が全体の4分の3を占めた。

腎不全など リスク上昇

米国では喫煙が原因となる

喫煙者の割合



受動喫煙でも「年間6800人死亡」

21の病気で年間48万人が亡くなっているとみられる。これは全死亡者の約2割に当たる。ところが喫煙が原因の死亡はもっと多い可能性がある。

2月、米国立がん研究所などのチームがそんな論文を米医学誌に発表し、話題となった。チームは55歳以上の約95万人を00〜11年にかけて追跡。亡くなった約18万人の死因を分析し、喫煙で死亡リスクが増える病気を新たに見つけた。

腎不全や高血圧性心疾患、腸管虚血などの病気で、喫煙者の死亡リスクがいずれも非喫煙者の2倍に上った。乳がんでは1.3倍、前立腺がんでは1.4倍になっていた。こうした病気を含めると、喫煙を原因とする死亡者数は年間6万人多い、54万人と

寿命に影響 10歳短く

英国での研究によると、35歳の人が70歳の時点で生きていた割合は非喫煙者が81%で喫煙者は58%。寿命は10歳違

吸いづらい 環境整えて

たばこをやめればリスクは減らせる。名古屋大のチームは20〜61歳の健康な男性約2万5千人を平均7年半追跡し、禁煙により死亡や脳卒中、心筋梗塞のリスクが下がるとを明らかにした。

たばこ対策に取り組む大阪府立成人病センターの医師、田淵貴大さんによると、喫煙者は一番の被害者だという。「ニコチン依存症のため健康やお金を犠牲にして、たばこを吸わされている。それに気付いて、今の状態から抜け出してほしい」。たばこ業界の宣伝活動に対する規制も欠かせないとい

名前

① 2007年、喫煙が原因で亡くなった人は、日本でどれくらいいると推定されていますか？また、国内の死亡者のおよそどれくらいに当たりますか？

② 喫煙が原因で亡くなった人の直接の死因は何ですか？多い者から3つ述べなさい。

③ この記事を読んだ感想を書きましょう。